

とっとり市報 1000号記念特集

市民のみなさんと行政をつなぐ。



5月のこよみ

ピョンちゃん号と

5.1961

「広報鳥取」から「とっとり市報」へ改題した昭和36年当時の表紙

創刊は昭和27年 鳥取大火の年

本紙が創刊されてから1000号を迎えました。本紙は創刊後まもなく鳥取大火にみまわれ、やむを得ず2カ月の休刊を経ながらも、毎月1～2回の発行を続け、市民と行政を結ぶ最も身近な広報紙として今日までその役割を担ってきました。

これまで本紙の紙面づくりにご協力いただきましたみなさんに改めて感謝するとともに、創刊から本号までを振り返ります。

問い合わせ先 市役所本庁舎広報室 ☎ 0857-20-3159



ぴょんちゃん号と子どもたち

創刊当時の苦勞

本紙は、昭和27年1月に当時の入江市政のもとで創刊されました。当時の名前は「広報鳥取」。紙面サイズはタブロイド判でした。

この年は、第二次世界大戦後の講和条約発効の年に当たり、市長は占領下から解放される喜びと「大鳥取市の実現」を新春のあいさつ文で述べています。

また、市議会の西尾議長は、「わが国が独立国として出発する輝かしい年に当たって鳥取市の創刊を見るに至ったことは誠に慶祝に堪えません」と思いを寄せています。

しかし、同年4月17日に発生した鳥取大火



とっとり市報でたどる58年

昭和27年1月 1号

創刊当時の名前は「広報鳥取」

昭和27年6月 4号

大火により2カ月休刊し再開

昭和28年7月 16号

合併により大鳥取市が誕生

昭和30年11月 40号

観光案内所を開設

昭和31年5月 臨時号

財政再建団体の指定を受ける

昭和33年12月 80号

第1回市民体育祭を開催

昭和34年10月 91号

(第9回鳥取県市町村広報紙コンクール第2位入選号)

昭和36年4月 108号

「とっとり市報」に改題

昭和37年11月 127号

第1回市民文化祭を開催

昭和39年2月 142号

「会社、工場めぐり」連載開始

昭和39年10月 150号

市庁舎が完成

昭和40年4月 156号

財政再建団体の指定解除

昭和40年9月 161号付録

第1回しゃんしゃん祭を開催

昭和41年1月 177号

市民会館が完成

昭和45年4月 216号

点字市報を開始

昭和47年2月 238号

「市政雑感」連載開始

昭和47年6月 242号

「同和問題シリーズ」連載開始

昭和48年6月 254号

福祉文化会館が完成

昭和49年1月 261号

市民体育館が完成

昭和51年4月 288号

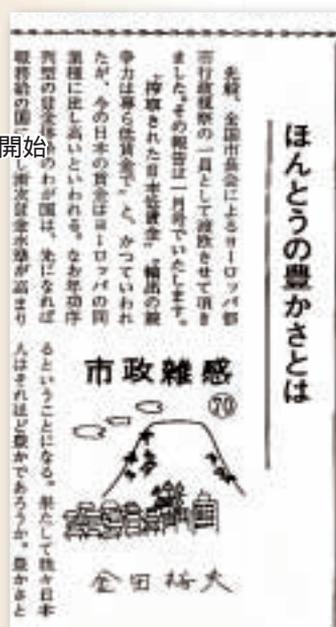
声の市報を開始

昭和54年5月 325号

盛んにしよう子供会

昭和55年5月 337号

文化ホールが完成



高度経済成長のもと

「広報鳥取」を現在の「とっとり市報」に改題したのは昭和36年のことでした。当時は高田市政。サイズもB5判の小冊子タイプになりました。

昭和40年には財政再建団体の指定もとかれ、前年の市庁舎に続き市民会館も完成。また、第1回目のしゃんしゃん祭を開催するなど、いよいよ自主財政の第一歩を踏み出しました。

この頃の本市には企業進出が相次ぎ、紙面でも市内の企業を紹介する記事が目立つなど、高度経済成長のもと、本市は大きく発展して行きました。

また、昭和45年からA4判へと本紙の紙面サイズも大きくなりました。

安定した経済成長へ

昭和46年に金田市政へ代わり、市長自らが執筆した「市政雑感」の連載がスタートしました。「市政雑感」は、市政を身近に感じられるシリーズとして人気となり、昭和58年の市長退任まで132回の長期連載になりました。

また、翌47年からは「同和問題シリーズ」がスタートしました。この連載は、「シリーズ@じんけん」に改題し、本号で373回を数える長期連載になっています。

この頃の特集記事は、「マイカー通勤自粛運動。交通渋滞の解消へGO」「鳥取駅高架開通。実現した南北一体化」「20年後の鳥取市。人口20万人を見込む」など、高度経済成長から安定した経済成長への社会の移り変わりを、色濃く映し出しています。

昭和45年から、桑の実会さんの協力により、点字市報」を、昭和51年から「声の市報」をそれぞれスタートしました。

また、急増する行政情報に対応するため、昭和57年4月から毎月1日・15日の2回の発行になりました。

大型イベントで賑わう

昭和58年に西尾優市政へ代わり、主婦がイン

タビュアーになり市の幹部に取材する「ママさんインタビュー」がスタート。翌59年には市民から記者を募集した「市民記者レポート」もスタートし、市民目線での紙面づくりが行われました。

また、昭和60年の国民体育大会「わかとり国体」にむけた記事が目立つようになったのもこの頃からです。毎号の表紙に強化選手の練習風景を取り上げ、大会までのカウントダウンを行うなど気運を盛り上げました。

さらに、平成元年の市制100周年にむけた記事へと続き、同年には「89鳥取・世界おもちゃ博覧会」が開催されるなど、本紙は大型イベントの記事でにぎわいました。

21世紀の基盤づくり

平成2年4月に西尾迢富市政へ代わり、環境問題に関する記事が目立つようになりました。ごみの分別や資源リサイクル、湖山池の水質浄化実践運動や草原化が進む砂丘の除草をスタートしたのもこの頃です。今日では一般的となったエコに対する認識など、21世紀への基盤づくりを推進し、平成3年には神谷清掃工場の新工場を、平成9年にはリファレンいなばをそれぞれ開業させ、平成13年には鳥取環境大学を開学させました。

また、国内外との交流を活発に行い、平成2年には韓国・清洲市と、平成13年にはドイツ・ハーナウ市と姉妹都市になりました。

市報と歩んで40年

桑の実会
会長 安部 徳子さん



視覚障がい者の人へ、あらゆる活字情報をお届けすることを目ざし、主眼に活動しているボランティア団体です。市社協主催の点字講習会修了者45人で昭和43年に結成しました。昭和47年には音声訳が加わり、視覚障がい者の人のニーズに添い、交流を深めながら今まで42年間に渡り活動を続けています。現在、会員は58人。

多岐に渡る活動の一つに「とっとり市報」の点訳・音声訳があります。鳥取のまちづくりの方向、問題点、税金の使われ方などを市民へ伝える、大切な役割を担っている市報が発行されたのは昭和27年。視覚障がい者の人からの強い希望で、昭和45年より点字市報（声の市報は昭和51年より）に協力させていただいています。障がい者の人から、同じ情報を共有でき、市の姿勢がよく伝わることを声をいただくと、関わることでよかったですとつくづく思います。

とっとり市報でたどる 58年

昭和 57年 4月 360号

毎月2回1・15日発行に変更

昭和 58年 4月 384号

「ママさんインタビュー」連載開始

昭和 59年 1月 403号

「市民記者レポート」連載開始

昭和 60年 1月 427号

わかとり国体までのカウントダウン開始

昭和 61年 5月 459号

「物語鳥取市100年」連載開始

平成元年 10月 540号

89鳥取・世界おもちゃ博覧会

平成元年 11月 541号

市制100周年記念

平成 2年 12月 569号

さざんか会館が完成

平成 3年 2月 573号

韓国・清州市と姉妹提携

平成 3年 8月 585号

「保健婦のつばやき」連載開始

平成 8年 10月 709号

「賈さんの韓国の話」連載開始

平成 9年 2月 717号

リファレンスいなばが完成

平成 11年 8月 777号

ドイツ・ハーナウ市と交流

平成 13年 5月 819号

鳥取環境大学が開学

平成 14年 4月 840号

「シリーズ元気です！」連載開始

平成 16年 11月 902号

新『鳥取市』誕生

平成 17年 5月 914号

新『中央図書館』オープン

平成 18年 5月 938号

「市長からの手紙」連載開始

平成 19年 4月 960号

毎月1回1日発行に変更

平成 21年 4月 984号

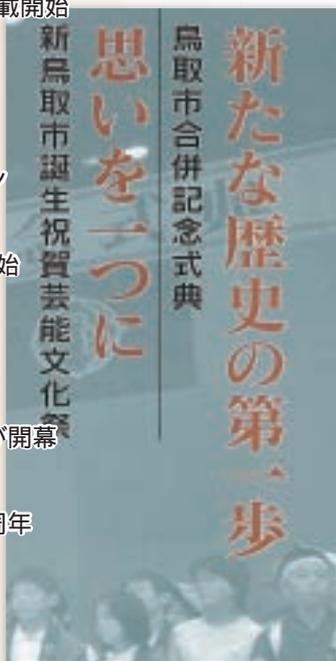
世界砂像フェスティバルが開幕

平成 21年 11月 991号

市制120周年・合併5周年

平成 22年 5月 997号

全頁フルカラー化を開始



また、市長自らが綴った「市長からの手紙」

平成14年に竹内市政がスタートした頃から、市町村合併に関する記事が目立つようになりました。平成16年には東部8町村と合併し、20万都市を実現しました。

竹内市政と同じ頃にスタートした「シリーズ元気です！」も、今号で101回を数える長期連載となっています。

広報の新たな展開

平成3年には「保健婦のつばやき」を、平成7年には「こんにちは保健婦です」をスタートし、子育てや健康づくりに関する身近なエピソードを通じて、保健事業の推進を行いました。

さらに、本年5月号からは、全ページをフルカラー化し、これまでより一層見やすい紙面づくりを進めています。

今後も、本紙が、市民のみなさんと行政をつなぐパイプ役でありますように、職員一同、努めてまいりますので、今後とも、ご理解とご協力をお願いします。

や「対談シリーズ」も市政を身近に感じていただくシリーズとして定着しました。

なお、ケーブルテレビ網が全市に整備されたことなどに伴い、平成19年4月号から月1回の発行となりましたが、市民のみなさんへ、必要とされる情報を的確にタイムリーにお伝えしていきます。

夏休み企画

とっとり市報

創刊1000号記念

「市報で振り返る8月の鳥取」

場所 市立中央図書館
 期間 8月1日(日) ~ 8月30日(月)
 ただし、火曜日と最終木曜日(26日)は休館日
 時間 平日 8:30 ~ 19:00
 土日 8:30 ~ 17:00

